

参加無料

瀬戸内海国立公園

日生から 長島愛生園

ひなせ

をめぐる

クルージング

隔離の歴史をたどる



長島愛生園歴史館(旧事務本館)



事務本館
1930(昭和5)年建設



常設展示室
国のハンセン病政策の紹介と長島愛生園での出来事を中心に紹介しています。



ギャラリー
絵画や陶芸作品など、入所者の作品を展示しています。

日生駅前棧橋発着

- 第1回 8月29日(土)
- 第2回 9月12日(土)
- 第3回 9月26日(土)

JR赤穂線日生駅(上り11:52着/下り11:51着)

- ▼
- 12:30 日生駅前棧橋出航/船上から島めぐり
- ▼
- 13:20 長島愛生園船越棧橋着
- ▼ 歴史館・歴史回廊見学(解説有り)
- 15:40 長島愛生園船越棧橋発
- ▼
- 16:10 日生駅前棧橋着
- ▼
- 日生駅(上り16:50発/下り16:51発)

この島で
生涯を過ごすことを
強いられた人がいる

世界遺産登録に向けて
他のハンセン病療養所
及び地域と運動を
すすめています

長島愛生園について

国立療養所長島愛生園は1930年(昭和5年)11月20日、日本初の国立療養所として誕生しました。当時ハンセン病は感染症ということはわかっていましたが有効な治療法がなかったため、国の政策として療養所への隔離が行われました。

1945年(昭和20年)頃特效薬ができ、やがて完全に治癒させることができるようになりましたが、隔離政策は1996年(平成8年)の「らい予防法」廃止まで続きました。

現在、入所者は退所することもできますが、高齢のため愛生園で生涯を過ごす人がほとんどです。

2001年(平成13年)「ハンセン病違憲国家賠償請求訴訟」でハンセン病に対する理解は格段に向上しましたが、社会的弱者に対する偏見・差別はなお根強いものがあります。

偏見・差別のない世界をつくりあげていくために、ハンセン病の歴史から学べることはたくさんあると思います。

長島愛生園がその一助となれば幸いです。



患者上陸
1931(昭和6)年、
最初の患者が上陸しました。



収容棧橋
ここから多くの患者が収容されました。



プロミン治療
1947(昭和22)年、
ハンセン病の特效薬が使用されました。



監房
逃走した者は監房に収監されました。



●岡山から1時間、大阪から2時間



お申し込み方法

電話、またはe-mailで2日前までにお申し込みください。

長島愛生園歴史館

TEL. 0869-25-0321

e-mail: info@aisei-rekishikan.jp

- 各回先着60人 ●最低催行人数10人 ●荒天による欠航が見込まれる場合には前日夕方までにホームページに掲載し、電話、メール等で応募者に連絡します。
- 天候等により当日突然中止となることがあります。 ●小学生以下は保護者の同伴が必要です。 ●出航の10分前までに日生駅前棧橋においでください。
- 出航時間に遅れた場合は乗船できません。

<http://www.aisei-rekishikan.jp>